

令和3年産 吉四六米栽培こよみ(ヒノヒカリ)

監修:大分県中部振興局 臼杵市 JA全農おおいた

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
生育	育苗			田植え			分けつ期			幼穂分化期			穂ばらみ期			出穂期			登熟期			収穫期		
水管理	深水						浅水 中干し						間断灌水						間断灌水					

農薬や肥料の使用状況について記帳が必要です!

種子消毒	全戸必ず実施する。温湯種子消毒機を使用するには、一般米と異なります。
	ない場合には、記帳が必要です。
元肥散布	田植え10日前まで施用 地力により元肥量は加減する。
病害虫予防	田植え 農薬成分数は下表参照 通期田植え日: 稚苗6/20、6/30を目安。苗は1株3、4本。(株当り50株程度)(株間23cm程度) 下表参照 箱処理剤について
除草	農薬成分数は下表参照
中干し	移植後30日を目安に、差数が20本程度を確保できたら中干しを始める。期間は地面が割れる程度(4、5日)行う。
穂肥	出穂25日前頃施用 ※遅れるとタンパク含有量が上がり食味が落ちるので注意すること。
ヘリ防除	穂ばらみ期(穂揃期)に散布する。(液剤の場合も同様)
ダフルカットスタークル	
又ハ	
フルシンジョーカー	
エクシード粉剤・フロアフル	収穫7日前まで ※薬剤名下の○数字は農薬成分数(合計○成分数以下) ○急激な高温乾燥は避ける。 ○早刈りは収量が減少し、刈り遅れは品質低下となるので注意。 ○登熟をよくするため、なるべく遅くまで間断灌水し、早期落水はしない。

土づくり	ケイカル	100~200kg/10a	基肥	油粕	100kg/10a	追肥	油粕(40~60kg/10a)
	珪酸加里	40kg/10a		粒状PK	20kg/10a		
	苦土石灰	100~200kg/10a					
	土灰汪	60kg/10a					
○耕起前に散布する。 ○根や茎を丈夫にし、病害虫の発生、倒伏を軽減する。		○地力により元肥量は加減する。田植え10日前までに施用する。		○出穂25日前頃に施用する。(遅れると蛋白含有量が上がり食味が落ちるので注意すること。) 出穂期 平年で8/27前後		*適切な土づくり、基肥、追肥が良食味につながります。定期的に土壌診断を行いましょう。	



薬剤名 / 農薬成分数	適用病害虫及び使用時期	除草剤名 / 成分数	使用時期	使用量 (10a当たり)	適用病害虫及び注意事項
防人箱粒剤 (1箱当り150g)	3 播種時~移植当日、いもち病、ウンカ類、もみ枯細菌病、白葉枯、イネネズミ/ムシ、イネドクオイムシ、フタオビコヤガ(イネアオムシ)、コメメイガに防除効果。 ※成分、ピラキサルト含有でウンカ類に高い効果	エンペラー	1キロ粒剤 3 移植時~10日 直後散布 ジャンボ 移植直後~10日 直後散布	1kg 250g (25gパック×10個)	ノビエ 3葉期まで ・コナギ・ホタルイ・オモダカ等の広葉雑草に有効で、白化させて枯死させる。
スクラム箱粒剤 (1箱当り150g)	4 播種時~移植当日、いもち病、ウンカ類、コメメイガ、紋枯病、イネドクオイムシ、イネネズミ/ムシ、ニカメイチュウに防除効果。ウンカ成分(トリフルメチル)紋枯病(ペンフルフェン)イモ子菌(イノキアール)コメメイガ(クロラントラニプロール)4つの成分がスクラムを組んで稲を守る	ズルゼータ	1キロ粒剤 2 移植時~ノビエ3葉期 直後60日まで ジャンボ 移植後1葉期~ノビエ3葉期 直後、収穫60日まで	1kg 200g (20gパック×10個)	ノビエ 3葉期まで ・1年生雑草防除(イボクサ・サヤヌカグサ・ホタルイ等)に高い効果。

**** 吉四六米に取り組むにあたっての注意事項 (必ずお読みください) ****

- ◎ 「特別栽培米」とは通常の栽培層から、化学合成農薬(成分11回数)と化学肥料(窒素量)の使用量を半分にして栽培されたものをいいます。 **さらに吉四六米は葉種油粕を使用し、化学肥料は、一切使いません。**
- ◎ 生産履歴は、出荷時等に必ず提出してください。
(様式等の指定は、ありませんが1圃場、使用農薬等がわかるよう詳細な記入をお願いします。)
- ◎ 農薬や肥料の使用回数・量が増えた場合は「吉四六米」としての扱いはできません。「通常」の米として出荷してください。

使用基準を必ず守り、安心な良食味米生産を行いましょう!